

臨床研究推進室

臨床研究推進室長 是恒之宏

臨床研究事業は、従来から国立病院機構が果たすべき先駆的な政策医療の一分野である。当院では治験や臨床試験の円滑な運営・管理、支援を行うことを目的に、臨床研究センターの1室に「臨床研究推進室」を配置している。臨床研究推進室は“治験管理部門”と“臨床試験支援部門”の2つの部門から成るが、現在は専ら治験管理部門が活動の中心となっている。

また臨床研究推進室では治験の全体的なコーディネーションはもちろんのこと、受託研究審査委員会（IRB）事務局としての機能も担っており、当院で実施される受託研究と各種臨床研究関連指針が適応される自主研究の審査を月2回のIRBの運営により審議している。そしてこれらの審査の透明性を保ち、円滑かつ十分な審議がなされるよう、情報の整理・提供を行っている。

治験実績は、今年度新規審査課題は治験・製造販売後臨床試験17件、実施中の課題は66件であった。受託研究請求金額総額はおよそ2億1,900万円に上っている。

自主研究では今年度は93件（うち、迅速審査24件）の新規審査を行った。

臨床研究推進室の構成員には治験コーディネーター9名（看護師7名、薬剤師2名）、データマネージャー3名、事務補助4名を配置し、治験の契約前から終了までのすべてにわたって迅速かつ質の高い治験実施を支援している。また、今年度より臨床研究への支援（スケジュール管理、CRF作成）も開始し、計10課題の支援を実施した。さらに、厚生労働省・文部科学省が打ち出している「臨床研究・治験活性化5ヵ年計画2012」の拠点医療機関に準じる施設として、院内外の活動にも積極的に参加している。各種学会・研究会での発表や座長を務め、教育・研修への貢献としては国立病院機構本部主催の初級者CRC養成研修において実習受け入れ施設に指定されている。また、大阪共同治験ネットワークに参加し、CRC研修を受入れる等、地域での治験・臨床研究推進にも寄与している。

院内の治験啓発活動では、「治験セミナー」「臨床研究セミナー」「看護師向け治験セミナー」を企画・開催している他、年4回「臨床研究推進室ニュース」を発行し、年間を通して職員全体の啓発と研究への支援に取り組んでいる。

【2012年度研究発表業績】

A-0

Yamashita T., Koretsune Y., Yasaka M., Inoue H., Kawai Y., Yamaguchi T., Uchiyama S., Matsumoto M. and Ogawa S Randomized, Multicenter, Warfarin-Controlled Phase II Study of Edoxaban in Japanese Patients With Non-Valvular Atrial Fibrillation Circ J 2012;76:1840-1847 2012.8

Hori M., Matsumoto M., Tanahashi N., Momomura S., Uchiyama S., Goto S., Isumi T., Koretsune Y., Kajikawa M., Kato M., Ueda H., Iwamoto K., Tajiri M., on behalf of the J-ROCKET AF study investigators Rivaroxaban vs. Warfarin in Japanese Patients With Atrial Fibrillation -The J-ROCKET AF Study- Circ J;76:2104-2111 2012.9

Hori M., Matsumoto M., Tanahashi N., Momomura S., Uchiyama S., Goto S., Isumi T., Koretsune Y.,

Kajikawa M., Kato M., Ueda H., Iwamoto K., Tajiri M., on behalf of the J-ROCKET AF study investigators Safety and Efficacy of Adjusted Dose of Rivaroxaban in Japanese Patients With Non-Valvular Atrial Fibrillation – Subanalysis of J-ROCKET AF for Patients With Moderate Renal Impairment Circ L;77:632-38,2013(25 Feb 2013)

A-2

是恒之宏 経口抗トロンビン薬 あなたも名医！新しい経口抗凝固薬、どう使う？（心房細動を診るジェネラリストのために） 日本医事新報社 p81-84 2012.8.25

是恒之宏 抗凝固療法の展望 不整脈学 南江堂 p387-390 2012.9.25

是恒之宏 循環器疾患の最新医療 先端医療技術研究所 p262-265 2012.10

是恒之宏 抗凝固療法の管理・指導 今日の循環器疾患治療指針 医学書院 p857-859 2013.1.1

A-3

是恒之宏 ガイドライン（2008年改訂版）にみる非弁膜症性心房細動の血栓塞栓症リスク評価 Mebio 株式会社メジカルビュー社 p27-32 Vol.29 No.4 2012

井上博 内山真一郎 是恒之宏 矢坂正弘 山下武志 ダビガトランの適正使用に向けて Thrombosis Scope 株式会社インターサイエンス社 p2-6 Vol.4 2012.4

是恒之宏 Antithrombotic Therapy in Atrial Fibrillation – Evaluation and Positioning of New Oral Anticoagulant Agents –(Ogawa S, et al: Circ J 75: 1539-1547,2011)のポイント hrombosis Scope 株式会社インターサイエンス社 p11-12 Vol.4 2012.4

是恒之宏 ガイドラインをどう読むか 24 ESC 心房細動治療ガイドライン Vascular Medicine 先端医学社 p52-55 Vol.8 No.1 2012.4

是恒之宏 新規抗凝固薬はどうなっているか 治療 南山堂 p1053-1098 Vol.94 2012.6
後藤信哉 大森司 是恒之宏 寺山靖夫 新規経口抗凝固薬を語る medicina 医学書院 p1058-1068 Vol.49 No.6 2012.6

是恒之宏 ワルファリン対照試験を読み解く際の留意点—TTRの重要性— Pharma Medica メディカルレビュー社 p105-109 vol.30 No.6 2012.6

是恒之宏 最初の大規模臨床試験 SPORTIF medicina 医学書院 p976-979 Vol49 No.6 2012.6

是恒之宏 新規経口抗凝固薬使用にあたってリスクに基づいた適応の層別化をどう考えるか？ 内科 南江堂 p22-25 Vol.110 No.1 2012.7

是恒之宏 心原性脳塞栓症予防のパラダイムシフト 心電図 日本心電学会 p202-204 Vol.32 No.2 2012.6

是恒之宏 赤尾昌治 岡崎修 門田一繁 ダビガトランの処方経験から見えたこと Pharma Medica メディカルレビュー社 p137-142 Vol.30 No.7 2012.7

是恒之宏 新規経口抗凝固薬使用にあたってリスクに基づいた適応の層別化をどう考えるか? 内科 南江堂 p22-25 Vol.110 No.1 2012.7

是恒之宏 新規抗凝固薬のハンドリング Medical Tribune MT ahead 株式会社メディカルトリビューン p4 2012.8.9

井上博 Stuart J.Connolly 是恒之宏 内山信一郎 座談会：CHADS₂スコア1点の非弁膜症性心房細動患者における抗凝固療法 Medical Tribune 株式会社メディカルトリビューン p36-37 2012.8.23

山下武志 是恒之宏 新原生塞栓症予防：ワルファリンとダビガトラン The Heart Today 2012 株式会社メディカルトリビューン p1 No.3 2012.9.16

是恒之宏 新規抗凝固薬の特徴 Therapeutic Research ライフサイエンス出版株式会社 p1299-1301 Vol.33 No.9 2012.9.30

是恒之宏 心房細動患者におけるアピキサバンとワルファリンの比較試験 (ARISTOTLE 試験) 脳と循環 メディカルレビュー社 p69-73 Vol.17 No.3 2012.9

是恒之宏 医師が語る処方箋の裏側「抗凝固薬の切り替え時に「併用」が必要なケースとは」 日経ドラッグインフォメーションDI 日経BP社 pPE012 2012.10

是恒之宏 心房細動における脳塞栓発症のリスク評価とその対策 Geriatric Medicine (株)ライフ・サイエンス p1145-1Vol.50 2012.10

是恒之宏 心房細動患者における脳塞栓予防のための抗凝固療法－新規抗凝固薬を中心に－モダンフィジシャン 株式会社新興医学出版社 p1189-1200 Vol.32 No.9 2012.10

是恒之宏 新規抗凝固薬の薬理作用－overview－ Heart View メジカルビュー社 p26-32 2012.12

是恒之宏 新規経口抗凝固薬とワルファリンの位置づけ MEDICAMENT NEWS 株式会社ライフ・サイエンス p7-8 No.2105 2012.11.15

是恒之宏 抗血小板薬と抗凝固薬の併用、是か非か Cardiovascular Frontier メディカルレビュー社 p30-34 Vol.3 No.6 2012.12

是恒之宏 ESC 心房細動管理 GL Japan Medicine Monthly 株式会社じほう p11 No.36 2013.1

是恒之宏 “安全”の認識先行にクギ、新規抗凝固薬アピキサバンの適正使用を強調 MTPro (医師のための専門情報サイト) 2013.2.13

是恒之宏 各種血栓性疾患に対する新規経口抗凝固薬の適応 CURRENT THERAPY 2013.3.1

是恒之宏、池田隆徳、志賀剛、Ezekowitz MD. 心房細動の抗凝固療法におけるダビガトランの位置づけ、日米の改訂ガイドラインを比較して 日経メディカル開発 http://medical.nikkeibp.co.jp/all/special/focus-af_anticoag/global/no7/ 2013年2月7日

B-1

是恒之宏 The New Era of Oral Anticoagulant Therapy for Patients with Non-valvular Atrial fibrillation The 29th Annual Meeting of the International Society for Heart Research Japanese Section 平成24年10月26日 九州大学 福岡県

是恒之宏 Challenges in Clinical Trials in Japan – from Investigators’ point of view 9th DIA Japan Annual Meeting 平成24年11月20日 都市センターホテル 東京都

B-3

是恒之宏 心房細動患者における抗血栓療法—新規経口抗凝固薬の評価と位置づけ— 平成24年4月3日 名古屋クレストンホテル 愛知県

是恒之宏 プラザキサの処方経験から見えたこと 平成24年4月6日 ザ・ペニンシュラ東京 東京都

是恒之宏 抗凝固療法中の頭蓋内出血を回避するためのアプローチ プラザキサ全国学術講演会 平成24年4月7日 ザ・プリンス・パークタワー東京 東京都

是恒之宏 新規抗凝固薬への期待と課題 ストップ! NO 卒中プロジェクト第5回エリアエキスパート会議 平成24年4月8日 シェラトン都ホテル大阪 大阪府

是恒之宏 心房細動患者における抗血栓療法 SPAF MEETING in KURUME 平成24年4月9日 萃香園ホテル 福岡県

是恒之宏 心房細動に対する抗血栓療法—新しい展開— 第19回鹿児島集中治療研究会 平成24年4月14日 城山観光ホテル 鹿児島県

是恒之宏 心房細動における抗血栓療法 抗血栓療法カンファレンス 平成24年4月16日 ホテルオークラ神戸 兵庫県

是恒之宏 心房細動における抗血栓療法ー抗凝固薬を選択できる時代がやってきたー 中越ヒルナーヘルツ研究会 平成24年4月20日 ニューオータニ長岡 新潟県

是恒之宏 心房細動患者における抗血栓療法の最新話題 抗凝固療法学術講演会 平成24年4月21日 リーガロイヤルホテル大阪 大阪府

是恒之宏 心房細動における抗血栓療法ー抗凝固薬を選択できる時代がやってきたー イグザレルト錠新発売記念講演会 平成24年4月26日 伊丹シティホテル 兵庫県

是恒之宏 新規抗凝固薬の特徴 第37回日本脳卒中学会総会 平成24年4月27日 福岡国際会議場 福岡県

是恒之宏 心房細動における抗血栓療法ー抗凝固薬を選択できる時代がやってきたー 東葛地区脳卒中予防研究会 平成24年5月7日 浦安ブライトンホテル 千葉県

是恒之宏 新規抗凝固薬への期待と課題 ストップ！NO 卒中プロジェクト全国一斉エリア会議 平成24年5月9日 ホテルグランヴィア大阪 大阪府

是恒之宏 日本のエビデンス J-ROCKET AF リバーロキサバン新発売記念公園 平成24年5月12日 ホテルオークラ神戸 兵庫県

是恒之宏 心房細動における抗血栓療法ープラザキサ発売一周年を迎えてー 城南地区プラザキサ学術講演会 平成24年5月18日 目黒雅叙園 東京都

是恒之宏 心房細動患者における抗血栓療法ー適正に、安全に薬剤を使用するためにー 堺薬剤師会 平成24年5月19日 堺市薬剤師会館 大阪府

是恒之宏 心房細動における抗血栓療法ー抗凝固薬を選択できる時代がやってきたー イグザレルト錠新発売記念講演会 平成24年5月22日 ホテルオークラ福岡 福岡県

是恒之宏 心房細動における抗血栓療法ー抗凝固薬を選択できる時代がやってきたー 長席循環器連携セミナー 平成24年5月25日 ホテルニュー長崎 長崎県

是恒之宏 第34回日本血栓止血学会学術集会 平成24年6月7日 ハイアットリージェンシー東京 東京都

是恒之宏 脳梗塞予防におけるプラザキサの位置づけ 第3回 National AF Summit 平成24年6

月 2 日 ANA インターコンチネンタルホテル東京 東京都

是恒之宏 心房細動における抗血栓療法ー抗凝固薬を選択できる時代がやってきたー 東信循環器疾患研究会 イグザレト新発売特別講演会 平成 24 年 6 月 15 日 小諸グランドキャッスルホテル 長野県

是恒之宏 心房細動患者における抗血栓療法の最新話題 Anticoagulation Forum 平成 24 年 6 月 16 日 ウェスティンホテル東京 東京都

是恒之宏 心房細動における抗血栓療法ー抗凝固薬を選択できる時代がやってきたー イグザレト錠新発売記念講演会 平成 24 年 6 月 22 日 リーガロイヤルホテル小倉 福岡県

是恒之宏 抗凝固療法の新たな時代の幕開け Brain & Heart Attack Forum 平成 24 年 6 月 23 日 帝国ホテル大阪 大阪府

是恒之宏 心房細動における抗血栓療法ー抗凝固薬を選択できる時代がやってきたー イグザレト新発売講演会 平成 24 年 6 月 25 日 米子全日空ホテル 鳥取県

是恒之宏 心房細動における抗血栓療法ー抗凝固薬を選択できる時代がやってきたー 西宮市内科医会循環器カンファレンス 平成 24 年 6 月 29 日 ノボテル甲子園 兵庫県

是恒之宏 心房細動における抗血栓療法の新時代 第 51 回埼玉県高血圧研究会 平成 24 年 6 月 30 日 大宮ソニックシティホール 埼玉県

是恒之宏 新規抗凝固薬を展望する ダビガトランについて 第 27 回日本不整脈学会学術大会 平成 24 年 7 月 6 日 パシフィコ横浜 神奈川県

是恒之宏 心房細動マネジメント 他にリスク因子を持たない 75 歳以上高齢者への抗凝固療法は... (行う) 第 27 回日本不整脈学会学術大会 平成 24 年 7 月 7 日 パシフィコ横浜 神奈川県

南口仁 南野哲男 小室一成 奥山裕司 南都伸介 北風政史 是恒之宏 日吉康長 山田貴久 長谷川新治 日常診療下での心房細動症例における脳卒中発症頻度と CHADS₂スコア、CHA₂DS₂-VASc スコアの有用性：多施設観察研究 (STACIN 研究) より 第 27 回日本不整脈学会学術大会 平成 24 年 7 月 7 日 パシフィコ横浜 神奈川県

堀正二 松本昌泰 棚橋紀夫 百村伸一 内山真一郎 後藤信哉 和泉徹 是恒之宏 非弁膜症性心房細動患者に対するリバーロキサバンの CHADS₂スコア別安全性、有効性の検討 J-ROCKET AF サブ解析 第 27 回日本不整脈学会学術大会 平成 24 年 7 月 7 日 パシフィコ横浜 神奈川県

是恒之宏 心房細動における抗血栓療法－抗凝固薬を選択できる時代がやってきた－ 川西市病診連携医療カンファレンス 平成 24 年 8 月 9 日 アステ川西 兵庫県

小野恭子 石山薫 土井敏行 木島かおり 北川智子 辻本有希恵 柚本育世 多和昭雄 楠岡英雄 是恒之宏 治験実施状況の評価－治験手続き、組み入れスピードの全国平均との比較 第 12 回 CRC と臨床試験のあり方を考える会議 平成 24 年 9 月 2 日 大宮ソニックシティ 埼玉県

是恒之宏 心房細動に対する抗血栓療法－薬剤を選択できる時代がやってきた－ 第 5 回一関不整脈研究会 平成 24 年 9 月 7 日 ベリーノホテル一関 岩手県

三浦弘之 古川哲生 小出雅雄 篠内和也 坂口大起 宮崎宏一 濱野剛 小濱康明 北田博一 廣岡慶治 安村良男 是恒之宏 楠岡英雄 急性心不全治療における worsening renal function の規定因子の検討 第 60 回日本心臓病学会学術集会 平成 24 年 9 月 15 日 ANA クラウンプラザホテル金沢 金沢県

小出雅雄 古川哲生 坂口大起 篠内和也 三浦弘之 宮崎宏一 濱野剛 小濱康明 北田博一 廣岡慶治 安村良男 是恒之宏 楠岡英雄 うっ血は腎機能を悪化させる：急性心不全患者での検討 第 60 回日本心臓病学会学術集会 平成 24 年 9 月 15 日 ANA クラウンプラザホテル金沢 金沢県

堀正二 和泉徹 内山真一郎 後藤信哉 是恒之宏 棚橋紀夫 松本昌康 百村伸一 非弁膜症性心房細動患者に対するリバーロキサバンの安全性・有効性の検討－J-ROCKET AF 試験における年齢別の部分集団解析 第 60 回日本心臓病学会学術集会 平成 24 年 9 月 15 日 ANA クラウンプラザホテル金沢 金沢県

是恒之宏 新規経口抗凝固薬ダビガトランの優位性 第 60 回日本心臓病学会学術集会 平成 24 年 9 月 15 日 ANA クラウンプラザホテル金沢 金沢県

是恒之宏 新しい抗凝固薬の使い方 第 60 回日本心臓病学会学術集会 平成 24 年 9 月 15 日 ANA クラウンプラザホテル金沢 金沢県

是恒之宏 心房細動における抗血栓療法－新規経口抗凝固薬時代を迎えて－ 中河内地区病診連携カンファレンス 平成 24 年 9 月 20 日 シェラトン都ホテル大阪 大阪府

是恒之宏 心房細動における抗血栓療法－抗凝固薬を選択できる時代がやってきた－ イグザレルト錠新発売記念講演会 平成 24 年 9 月 24 日 大分オアシスタワーホテル 大分県

是恒之宏 心房細動における抗血栓療法－新しい経口抗凝固薬をどう使う－ 循環器学術セミナー 平成 24 年 10 月 6 日 リーガロイヤルホテル堺 大阪府

奥山裕司 南口仁 南野哲男 北風政史 是恒之宏 日吉康長 山田貴久 長谷川新治 南都信介 小室一成 日常臨床におけるダビガトラン既存用量使用困難例の割合とその特徴—多施設心房細動レジストリー (STACIN 研究) より— 第 29 回日本心電学会学術集会 平成 24 年 10 月 12 日 幕張メッセ国際会議場 千葉県

是恒之宏 Atrial fibrillation and the GARFIELD Registry in Japan 第 29 回日本心電学会学術集会 平成 24 年 10 月 13 日 幕張メッセ国際会議場 千葉県

南口仁 奥山裕司 南野哲男 北風政史 是恒之宏 日吉康長 山田貴久 長谷川新治 南都信介 小室一成 心房細動における脳卒中発症頻度と CHADS₂スコア, CHA₂DS₂-VSc スコアの妥当性: 他施設観察研究 (STACIN 研究) より 第 29 回日本心電学会学術集会 平成 24 年 10 月 13 日 幕張メッセ国際会議場 千葉県

是恒之宏 ブルーノ・ロッシ 岩本和也 エドワード・ワン アンディ・スタンクス マルコ・ディボネベンツラー ジャン・バティスト・ブリエール 日本の心房細動患者における治療実態—Japan National Health and Wellness Survey (NHWS)を用いた検討— 第 29 回日本心電学会学術集会 平成 24 年 10 月 13 日 幕張メッセ国際会議場 千葉県

是恒之宏 心房細動における抗血栓療法—新規経口抗凝固薬時代を迎えて— ハートリズムカンファレンス 平成 24 年 10 月 26 日 ホテルオークラ 福岡県

是恒之宏 日本の心房細動患者さんのためにプラザキサについて考える Prazaxa Expert Conference 平成 24 年 10 月 27 日 ベルザール汐留 東京都

是恒之宏 心房細動における抗血栓療法—新規経口抗凝固薬の評価と位置付け— 第 225 回日本循環器学会関東甲信越地方会

是恒之宏 心房細動患者における抗血栓療法～適正に、安全に薬剤を使用するために～ 抗凝固療法学術講演会 平成 24 年 10 月 30 日 ラマダホテル大阪 大阪府

是恒之宏 1次予防の立場からプラザキサを考える 心房細動による脳卒中予防の新展開 平成 24 年 11 月 17 日 神戸国際会議場 兵庫県

是恒之宏 心房細動における抗血栓療法—抗凝固薬を選択できる時代がやってきた— 第 44 回和歌山県医師会医学会総会 平成 24 年 11 月 18 日 和歌山東急イン 和歌山県

是恒之宏 Afにおける抗血栓療法—新規経口抗凝固薬の選択と 第 7 回新潟循環器疾患 EBM 研究会 平成 24 年 11 月 24 日 ホテル日航新潟 新潟県

是恒之宏 心房細動に対する経口抗凝固薬療法—新規経口抗凝固薬時代を迎えて—

Gastroenterology & Cardiology Joint Conference 平成 24 年 11 月 26 日 第一三共株式会社札幌支店
北海道

北川智子 石山薫 柚本育世 三賀森美央 辻本有希恵 木島かおり 小野恭子 土井敏行
多和昭雄 楠岡英雄 是恒之宏 臨床研究支援の在り方に関する検討—事務局・CRC 双方の視点
から— 第 33 回日本臨床薬理学会学術総会 平成 24 年 11 月 29 日 沖縄コンベンションセンタ
ー 沖縄県

是恒之宏 心房細動における抗血栓療法～新規経口抗凝固薬の最新の話～ 大阪抗凝固療法
Network Meeting 平成 24 年 12 月 6 日 ヒルトン大阪 大阪府

三浦弘之 古川哲生 坂口大起 篠内和也 宮崎宏一 濱野剛 小出雅雄 北田博一 安部晴
彦 廣岡慶治 楠岡英雄 安村良男 増田慎三 是恒之宏 当院におけるトラスツマブ投与後
の心機能障害に関する検討 第 114 回日本循環器学会近畿地方会 平成 24 年 12 月 15 日 大阪
国際会議場 大阪府

三浦弘之 古川哲生 坂口大起 篠内和也 宮崎宏一 濱野剛 小出雅雄 北田博一 安部晴
彦 廣岡慶治 楠岡英雄 安村良男 増田慎三 是恒之宏 薬剤性心筋症に対するカルベジロ
ール内服を中止しえた症例 第 114 回日本循環器学会近畿地方会 平成 24 年 12 月 15 日 大阪
国際会議場 大阪府

是恒之宏 心房細動における抗血栓療法—抗凝固薬を選択できる時代がやってきた— 第 38 回
和歌山東臨床研究会 平成 24 年 1 月 12 日 ダイワロイネットホテル和歌山 和歌山県

是恒之宏 脳卒中予防の重要性～疫学から治療の重要性まで～ エキスパートセミナー 平成
25 年 1 月 19 日 六本木アカデミーヒルズ 東京都

是恒之宏 心房細動患者における抗血栓療法—新しい経口抗凝固薬時代を迎えて— 第 250 回四
日市循環器懇話会 平成 25 年 1 月 29 日 四日市都ホテル 愛知県

是恒之宏 ワルファリンと新規経口抗凝固薬、どう使い分ける？ 第 6 回心房細動トータルマネ
ージメントフォーラム 平成 25 年 2 月 9 日 ベルサール汐留 東京都

是恒之宏 心房細動における新規経口抗凝固薬について 日本心臓病学会 教育セミナー 平
成 25 年 2 月 10 日 グランキューブ大阪 大阪府

是恒之宏 アピキサバン発売プレスセミナー 東京 平成 25 年 2 月 12 日

是恒之宏 心房細動患者における抗血栓療法～循環器の立場から考える～ 日医生涯教育協力
講座 セミナー心房細動と脳梗塞 平成 25 年 2 月 16 日 愛媛県医師会館 愛媛県

是恒之宏 心房細動における抗血栓療法－新規抗凝固薬を実臨床にどう活かすかー SPAF Expert Meeting 平成 25 年 2 月 19 日 ヒルトンホテル大阪 大阪府

是恒之宏 新規抗凝固療法の可能性～ARISTOTLE 試験で裏付けられたアピキサバンの有効性と安全性～ エリキュース新発売記念 WEB シンポジウム 平成 25 年 2 月 20 日

是恒之宏 心房細動を対象とした新規経口抗凝固薬の治験に係わって 第 7 回北摂コラボレーションミーティング 平成 25 年 2 月 23 日 たかつき京都ホテル 大阪府

是恒之宏 心房細動における抗血栓療法-新規抗凝固薬を実臨床にどう活かすか- 平成 25 年 3 月 28 日 スイスホテル南海大阪

是恒之宏 ARISTOTLE 試験結果からみるエリキュースの可能性と臨床応用への課題 エリキュース新発売記念講演会 in 大阪 平成 25 年 3 月 31 日 リーガロイヤルホテル 大阪府

B-1

是恒之宏 The New Era of Oral Anticoagulant Therapy for Patients with Non-valvular Atrial fibrillation The 29th Annual Meeting of the International Society for Heart Research Japanese Section 平成 24 年 10 月 26 日 九州大学 福岡県

是恒之宏 Callenges in Clinical Trials in Japan – from Investigators’ point of view 9th DIA Japan Annual Meeting 平成 24 年 11 月 20 日 都市センターホテル 東京都

B-4

小野恭子、石山薫、土井敏行、木島かおり、北川智子、辻本有希恵、柚本育世、多和昭雄、楠岡英雄、是恒之宏：治験実施状況の評価－治験手続き、組み入れスピードの全国平均との比較－ 第 12 回 CRC と臨床試験のあり方を考える会議 2012in 大宮 平成 24 年 9 月 大宮ソニックシティ 他 埼玉県

木島かおり、土井敏行、石山薫、小野恭子、北川智子、柚本育世、辻本有希恵、多和昭雄、是恒之宏：「入院対応を要した治験におけるCRCの病棟調整業務についてのアンケート調査」第 66 回国立病院総合医学会 平成 24 年 11 月 神戸国際展示場 兵庫県

土井敏行、石山 薫、小野恭子、木島かおり、北川智子、柚本育世、辻本有希恵、多和昭雄、是恒之宏、楠岡英雄：「症例集積性の向上を目的とした病診連携・病病連携について」第 66 回 国立病院総合医学会 平成 24 年 11 月 神戸国際展示場 兵庫県

北川智子、石山薫、柚本育世、三賀森美央、辻本有希恵、木島かおり、小野恭子、土井敏行、多和昭雄、楠岡英雄、是恒之宏：臨床研究支援の在り方に関する検討 ー事務局・CRC 双方の視点からー 第 33 回日本臨床薬理学会学術総会 平成 24 年 11 月 沖縄コンベンションセンター 沖縄

縄県

B-8

北川智子：「ALCOA の実際～医療機関での活用～」平成 24 年度初級者臨床研究コーディネーター養成研修 平成 24 年 5 月 国立病院機構本部 1 階講堂 東京都

土井敏行：「治験の流れについて」平成 24 年度近畿ブロック医療技術研修「治験等受託研究事務研修」平成 25 年 1 月 大阪医療センター 大阪府

北川智子：「治験依頼者と実施医療機関のより良い協働を目指して～CRA と CRC のコミュニケーション～」平成 24 年度近畿ブロック医療技術研修 CRC スキルアップ研修 平成 25 年 3 月 大阪医療センター 大阪府